

環 境 報 告 書

令和5年12月報告

ふりがな	おおはらけんせつ			認定 ランク	☆☆☆
事業所名	株式会社大原建設				
概 要	所在地	松本市岡田町 627 番地			
	代表者名	代表取締役 大原 篤			
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	総合建設業（土木工事業・建築工事業・とび・土工工事業・石工事業・鋼構造物工事業・舗装工事業・機械設置工事業・水道工事業・造園工事業） 従業員 27名 令和4年5月決算 完成工事高 1,112,010千円			
	担当者	所属	総務	氏名	齊藤光春
	連絡先	電話	0263-46-6009	FAX	0263-46-9285

○ 環境に配慮した取組み内容

環境に対する理念・方針	株式会社大原建設は建設業という「ものづくり」事業活動を通じ、私たちを取り巻く地域環境との持続的な共存を目指し、環境への取組みを重要項目の一つと位置付け全社一丸となって法令遵守のもと、信州の美しい自然を守るためにも環境への取組みを推進し環境負荷を継続的に削減する。 1 建設工事による電力、燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努力します。 2 本社業務における節水活動により、水使用量を削減します。 3 各種資機材及び事務用品のグリーン購入を推進します。 4 環境に配慮した工事の施工を推進します。 5 環境保全に関する地域での清掃活動等、社会貢献に努めます。 6 廃棄物の減量、再使用、再生利用の推進に努めます。 7 建設業において、環境関連法規並びに条例を遵守します。 8 環境方針は全従業員に周知します。 9 エコアクション21にて環境レポートを作成し外部に公表します。 10 環境経営の継続的改善を誓約します。
環境に関する取組み目標	別紙 5

具体的な取組み内容	別紙 6
実施結果（成果）	別紙 6 7 8
課題・問題点と その改善に向けて	別紙 9
その他、 アピールポイント等	長野県産業廃棄物 3R 実践協定締結、よりリサイクル推進に努力している。

5 環境経営目標

(1) 中期目標

項目	H26年度実績 (基準年)	R3年度目標 (-7%)	R4年度目標 (-8%)	R5年度目標 (-9%)
燃料使用量ガソリン ℓ	16,403	15,255	15,091	14,927
軽油 ℓ	29,229	27,183	26,891	26,598
灯油 ℓ	5,899	5,486	5,427	5,368
ガス kg	52	48	48	47
電力使用量 kwh	11,249	10,462	10,349	10,237
CO2 排出量	323,755	301,092	297,855	294,617
用水使用量 m ³	53	49.0	49	48
一般廃棄物排出量	0.263	0.2446	0.2420	0.2393
産業廃棄物排出量	500	584	460	455
グリーン購入量	—	6	6	6
環境負荷の少ない工事件数	—	4	4	4
社会貢献活動	—	4	4	4

産廃については解体業の許可取得により
H31年度を基準年とする

- 電力のCO2排出量については、電力事業者別のCO2実排出係数(26年度実績)
(平成26年公表)の中部電力の実排出係数0.513(kg-CO2/kWh)を使用した。
- 環境負荷の少ない工事件数
 - ・環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用。
 - ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用。
 - ・間伐材等、未利用資材の使用。
 - ・騒音・振動・粉塵・濁水対策等の提案・施工
 - ・施工前の環境保全活動点検及び協議
- グリーン購入量(%)は、事務用品の購入金額に占めるグリーン商品購入金額を示す。
- 社会貢献活動は事務所・現場の合同で行います。
- 工事完工高の増加により基準年度を1とした係数を採用した

(2) 実績表

項目	H31/R1年度実績	R2年度実績	R1係数	0.499
			R2係数	0.377
			R3係数	0.416
			R3年度実績	R4年度実績
燃料使用量ガソリン ℓ	12,041	12,666	10,394	12,300
軽油 ℓ	24,155	23,587	26,203	19,862
灯油 ℓ	601	915	498	216
ガス kg	18	13	6	4
電力使用量 kwh	6,613	7,034	5,706	5,225
CO2 排出量	96,289	96,684	223,505	200,412
用水使用量 m ³	77	69	40	40
一般廃棄物排出量	0.160	0.115	0.157	0.180
産業廃棄物排出量	297	906	729	733
グリーン購入量	4	4	4	4
環境負荷の少ない工事件数	3	3	3	3
社会貢献活動	3	5	5	5

H29年度から係数値に変更使用

6.環境経営目標と実績

環境目標に対する達成状況は以下の通りです

評価日: R5年 4月 20日

作成者	評価者
齊藤	中原

H26年度を1とした R3年度 係数 0.416 実績値は全て係数で計算した数値です

取組項目	実施区	単位	H26年度	運用機関				中期目標			
			H26.4~H27.3	R4.4.1~R54.3.31				R3年度	R4年度	R5年度	
			基準値	目標値	実績値		評価	R3.4~R4.3	R4.4~R5.3	R5.4~R6.3	
二酸化炭素排出量の削減	事務所	二酸化炭素排出量	kg-CO2	135,417	297,855	200,412	67%	○	93%	92%	91%
		電力使用量 (毎年1%削減)	Kwh/年	11,249	10,349	5,225	50%	○	93%	92%	91%
	現場	ガソリン使用量 (毎年1%削減)	ℓ/年	16,403	15,091	12,300	82%	○	93%	92%	91%
		灯油使用量 (毎年1%削減)	kg-CO2	38,083	35,036	28,556					
	現場	灯油使用量 (毎年1%削減)	ℓ/年	5,899	5,427	216	4%	○	93%	92%	91%
		LPガス使用量 (毎年1%削減)	kg-CO2	14,700	13,524	539					
			kg/年	52	48	4	8%	○	93%	92%	91%
現場	軽油使用量 (毎年1%削減)	kg-CO2	156	144	11						
現場	軽油使用量 (毎年1%削減)	ℓ/年	29,229	26,891	19,862	74%	○	93%	92%	91%	
事務所	水使用量の削減 (毎年1%削減)	ℓ/年	76,707	70,571	52,124						
事務所	水使用量の削減 (毎年1%削減)	ℓ/年	53	49	40	82%	○	93%	92%	91%	
全体	グリーン購入及びグリーン調達 の推進 (毎年1品目増)	—	—	—	積極的に使用		○	+7点	+7点	+7点	
現場	低騒音・低排出ガス型重機の使用	—	—	—	積極的に使用		○				
全体	環境コミュニケーション・社会貢献 (ボランティア活動の実施)	—	年1回	4回	12回		○	年6回	年6回	年6回	

*購入電力の実排出係数は、中部電力2021年の0.379kgCo2/kwhを使用しています。

*化学物質の使用はありません。

		単位	基準値	目標値	実績値		評価			
一般産業廃棄物	事務所	t	0.263	0.2420	0.1799	74%	○	93%	93%	92%
産業廃棄物	現場	t	596	460	733	159%	△	99%	98%	97%

産業廃棄物の排出量は舗装工事、解体工事、土木工事の拡大に従って増大している。しかし、分別排出を徹底することにより、建設リサイクルの国目標に貢献し、アスファルト・コンクリートの再資源化率98%以上、コンクリートの再資源化率98%以上の達成に寄与している。今後とも混合廃棄物の減少に努める。

7.環境活動計画の取組み結果とその評価、次年度の取組内容

項目		目標値	活動内容	担当者	評価 (結果と次年度の対応)	
CO2排出量 削減	燃料使用量 削減	軽油26891ℓ	建設機械のアイドリングストップ運転を推進する	工事 田中 眞哉	○	
			車両・重機の急発進・急加速・空ぶかしの禁止	工事 田中 眞哉	○	
		ガソリン15091ℓ	同一現場への相乗り指向	工事 田中 眞哉	△	コロナ感染防止のため中止
			積載オーバーしない	工事 田中 眞哉	○	
	電力使用量 削減	10349kwh	不要時の消灯の徹底	経理 中原 佳代	○	
			長時間使用しない機械設備・OA機器は主電源オフ	経理 中原 佳代	○	
			エアコンの設定温度を守る(冷房28℃ 暖房20℃)	経理 中原 佳代	○	
			外気の室内取り込み	経理 中原 佳代	○	冬季は除く
用水使用量削減 (排水量削減)		49ℓ	水道蛇口に節水表示を行う	経理 中原 佳代	○	管渠更生工事のため毎日会社より用水を運んだため量的には増加
			使用時はこまめに止水を行う	経理 中原 佳代	○	
一般廃棄物排出削減		-7%	ゴミの排出量を測定し減らす	経理 中原 佳代	○	測定を継続する
			ミスプリントは裏面利用を行う	経理 中原 佳代	○	徹底されている
産業廃棄物排出削減		-7%	再生資材・材料を極力使用する	工事 田中 眞哉	○	再生資源98%
			マニフェスト伝票による管理を徹底する	工事 田中 眞哉	○	
			ゴミの分別徹底	工事 田中 眞哉	○	分別持ち込みを徹底し再資源化に協力する
グリーン購入		5	エコマーク文具を優先して購入する	経理 中原 佳代	○	
			地場産業品の優先的購入	経理 中原 佳代	○	
環境負荷の少ない工事実施		4件	環境負荷の少ない材料(リサイクル製品等)の使用	工事 田中 眞哉	△	製品情報が少ないためより情報集を徹底する
			低騒音、排出ガス対策型重機の使用	工事 田中 眞哉	○	
			間伐材等、未利用資材の使用	工事 田中 眞哉	○	
			騒音・振動・粉塵・濁水対策等の提案・施工	工事 田中 眞哉	○	機械整備の徹底
			施工前の環境保全活動点検及び協議	工事 田中 眞哉	○	
社会貢献活動の推進		4件	地域清掃活動への積極的参加	工事 田中 眞哉	○	次年度も積極的に企画、参加する

評価:達成○、良い方向に向かっているが未達成△、未達成×で記載する。

次年度の環境経営目標

- ・令和5年度は基準年-9%の削減目標を掲げた。令和6年度に向けてより環境配慮のため、各現場ごとの削減を推進する。

問題点

- ・現場使用の燃料系については、各現場共通のローリーを使って給油するため個々の現場使用量を特定することが困難である。
(バックホウなど建設機械は現場から移動できないため)

R6年度目標

基準年 -10%

- ・各現場の実行予算管理を現場代理人に徹底し高利益体制を作る。
- ・太陽光発電、地下水等の活用を検討する。
- ・従来通り省エネ機器の導入を推進する。
- ・従業員各位の環境への意識向上を朝礼等を利用し徹底する。

- ・店社の特別教育を充実し 下請け職員も教育訓練の一環として安全衛生講習を行い 各種免許の取得を推進する。

4月 小型車両系特別教育 5月刈払い系特別教育 6月 小型クレーン系特別教育
7~10 月その他必要な特別教育を選定し各1日~4日の行程で教育を行う。

- ・従業員の有給休暇取得を推進するため年5日以上指定休暇を連続休暇が取得可能な設定にする。

- ・SNSを活用し勤怠管理、日報、各種連絡等を電子化し効率を高める。
- ・その他、従業員の提案力を強化し評価するシステムを構築する。

方針	目標	目標達成手段	責任部門 責任者
	<p>電力の削減</p> <p>基準年度の実績 H26年 11249kWh</p> <p>R5年度目標 基準年度比 0.91 目標値 10237kwh</p> <p>R6年目標 基準年度比 0.9 目標値 10124kwh</p>	<p>(各部節電運動の展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼休み、不在時の消灯 ・夜間・休日はパソコン等のOA機器の電源OFF ・冷暖房の適正化(冷房28° 暖房20°) ・外気の室内取り組み 	<p>経理部 中原佳代</p>
	<p>化石燃料の削減#軽油#</p> <p>基準年度の実績 H26年 29229ℓ</p> <p>R5年度目標 基準年度比 0.91 目標値 26598ℓ</p> <p>R6年度目標 基準年度比 0.9 目標値 26306ℓ</p>	<p>(エコドライブ運動の展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ ・急発進、急加速、空ぶかしの抑制 ・冷暖房の控え目使用 ・建設機械等の作業停止時のエンジン停止 ・積載オーバーをしない ・同一現場への相乗り指向 	<p>土木部 田中真哉</p>
	<p>化石燃料の削減#ガソリン#</p> <p>基準年度の実績 H26年度 16403ℓ</p>	<p>(エコドライブ運動の展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイドリングストップ 	<p>経理部 中原佳代</p>

二酸化炭素排出削減	R5年度目標 基準年度比 0.91 目標値 149272	<ul style="list-style-type: none"> ・急発進、急加速、空ぶかしの抑制 ・冷暖房の控え目使用 ・用足しはまとめていく 	
	R6年度目標 基準年度比 0.9 目標値 147632		
	化石燃料の削減#灯油# 基準年度の実績 H26年度 58992	<ul style="list-style-type: none"> ・暖房の適正化 	経理部 中原佳代
	R5年度目標 基準年度比 0.91 目標値 53682		
	R6年度目標 基準年度比 0.9 目標値 53092		
	LPGの削減 基準年度の実績 H26年度 52kg	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯器の適温使用 	経理部 中原佳代
	R5年度目標 基準年度比 0.91 目標値 47kg		
	R6年度目標 基準年度比 0.9 目標値 47kg		

二酸化炭素排出削減	CO2の削減 基準年度の実績 H26年度 323755kg-CO2	各目標達成状況の確認と改善	経理部 中原佳代
	R5年度目標 基準年度比 0.91 目標値 294617kg-CO2		
	R5年度目標 基準年度比 0.9 目標値 291380kg-CO2		
	産業廃棄物の削減 基準年度の実績 H31年度 500t	<ul style="list-style-type: none"> 現状把握による削減 分別廃棄 再資源率の向上 	工事部 田中真哉
R5年度目標 基準年度比 0.91 目標値 455t			
	R6年度目標 基準年度比 0.90 目標値 450t		
	一般廃棄物の削減 基準年度の実績 H26年度 0.263t	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別と再利用の徹底 	経理部 中原佳代
	R5年度目標 基準年度比 0.91		

<p>目標値 0.240t</p> <p>R5年度目標 基準年度比 0.90 目標値 0.238t</p>		
<p>水道水の削減 基準年度の実績 H26年度 53m³</p> <p>R5年度目標 基準年度比 0.91 目標値 48m³</p> <p>R6年度目標 基準年度比 0.9 目標値 48m³</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水道水の節水 こまめに止水 ・節水表示を各水栓に設置 	<p>経理部 中原佳代</p>

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

1 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

最新版確認日： 2016. 3. 20

遵守評価日： 2023. 4. 20

作成者	評価者
齊藤	中原

法規制等の名称	該当する活動	評価
廃棄物処分法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	委託契約の書面	○
	マニフェストの管理	○
	実績報告書	○
建設リサイクル法	対象工事における届出書面作成	○
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規定	特定建設作業事業実施届出書	○
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定		○
道路交通法	道路使用許可申請書	○
道路法	道路占用許可申請書	○
道路運送車両法	点検整備記録簿	○

2 違反、訴訟等

環境関連法規の遵守状況は、3月に環境管理責任者を中心として確認し調べた結果、環境法規への違反はありませんでした。
また、関係機関からの指摘、違反、訴訟、訴訟等は過去5年間ありませんでした。

9.代表者による全体評価と見直しの結果

全体評価

- 1 環境方針
環境方針については変更はない。
- 2 環境目標の達成状況
26年売上を係数1として 数値を設定、達成率が見えてきた。
- 3 環境活動計画の実施状況
前期より社員全体への啓発活動にもっと力を入れていきたい。
新型コロナウイルス感染防止優先させたため、現場への相乗り等中止したものがあつた。
- 4 環境関連法規等の遵守状況
法規等の遵守評価については問題ない。
- 5 環境負荷の自己チェック結果
売上高に比例し、二酸化炭素排出量、化石燃料使用量、産業廃棄物排出量に増減がある。
係数化したため実際の取り組み状況が把握できて来た。
- 6 外部からの苦情等への対応
苦情・事故は0件だった。
今後も細心の注意を払い、苦情・事故ゼロの継続に勤める。

見直しの結果

エコアクション21の取組みをきっかけに社内でも新しい取組みが行われてきた。
計画を立てて更に実施していきたいと思う。
来期も、従業員一人一人が更にエコへの意識を高めて、活動に取り組むことを期待している。
工事量の増加により産業廃棄物の総量が増大した、既存の構造物を撤去し再構築する業務の性格上増大することは工事量が増えていることの証であるが、環境負荷に留意しより徹底した分別廃棄に努めリサイクル率の向上に寄与したいと思う。一点、用水使用量が増加しているが、子会社のダイシン機電株式会社を本社内に同居させたため社屋全体の人数が増加し、また 交換後の水道メーターの水洗い等用水の使用頻度が上がったもので、今後経費の分散等することにより改善すると思う。

変更の必要性

以上の結果から環境方針、環境活動計画書及び環境経営システムについて変更はしない。

環境目標に関しては、今後の売り上げの推移を見て変更を検討する。



令和 5年 4月 21日

代表取締役 **大原 篤**
代表取締役 **大原 辰雄**

